

エコアクション 21

環境経営レポート

2019年度版

(活動期間：2019年4月1日～2020年3月31日)



写真：台風19号災害現場（常和地区）にて



高重建設工業株式会社

発行日：2020年4月17日

(改訂：2020年12月23日)

目次

1. 組織の概要	3
2. 実施体制	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標と実績	6
4-1. 主な環境負荷の実績（過去3ヶ年の環境負荷の推移）	6
4-2. 環境経営目標	8
5. 年度目標と実績・結果	9
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	11
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	15
8. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示	16

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

事業者名 高重建設工業株式会社

代表者名 代表取締役 高橋 剛

(2) 所在地

本 社 長野県佐久市平賀 2 1 6 8 番地 1

資材置場 長野県佐久市平賀 2 1 4 1 番地

(3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 上原 章

担 当 者 高橋 裕貴

連 絡 先 TEL:0267-62-0468 FAX:0267-62-8372

E-mail:tj.akira@isis.ocn.ne.jp

(4) 事業の内容

・ 特定建設業

長野県知事 許可（特-27）第 1551 号

・ 建設業の種類

土木工事業

とび・土工工事業

石工事業

鋼構造物工事業

舗装工事業

しゅんせつ工事業

塗装工事業

水道施設工事業

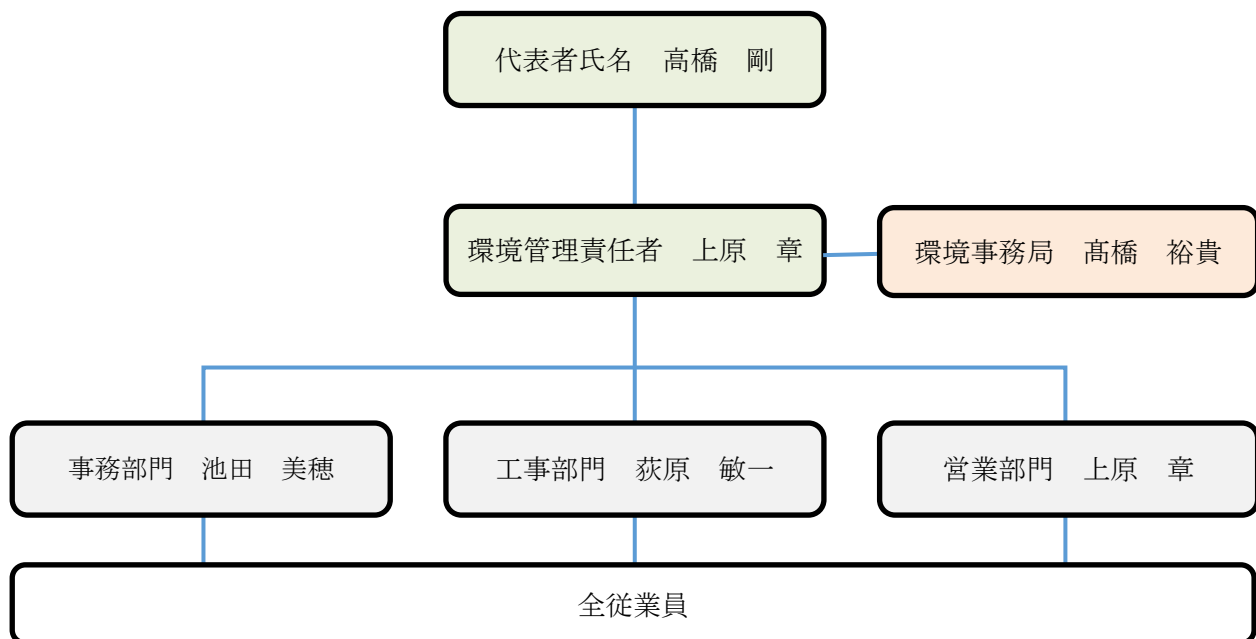
(5) 事業の規模

項目	単位	2017 年	2018 年	2019 年
完成工事高	千円	721, 272	689, 630	576, 732
従業員数	人	15	16	18
敷地面積	m ²	本 社 120.0 m ² 資材置場 500.0 m ²	本 社 120.0 m ² 資材置場 500.0 m ²	本 社 120.0 m ² 資材置場 500.0 m ²

(6) 事業年度 4 月～3 月

(7) 認定登録範囲 全組織・全活動・全従業員

2. 実施体制



役職	役割・責任・権限
代表者	- EA21 に関するすべての責任と運用について権限を持つ - EA21 に必要な経営資源の確保 - 環境管理責任者の任命 - 環境経営方針の策定、見直し、及び全従業員への周知 - 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	- EA21 の運営、実施、管理、および代表者への報告 具体的な項目： - a 環境関連法規等のとりまとめ及び確認 - b 環境経営目標、環境経営計画書の確認、環境経営レポートの確認 - c 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善の処置
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐 - EA21 に関する文書及び記録の作成 - 環境負荷及び取組の自己チェックの実施 - 環境レポート作成、公開及び外部とのコミュニケーションの窓口
部門長	- 自部門における EA21 の実施、又、環境方針の周知 - 自部門に特定された環境活動計画の実施、及び達成状況の報告 - 自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施 - 平素の活動に対する手順書の作成及び運用の管理
全従業員	- 環境経営方針への理解と取組（現在の状況を認識し実践） - 自主的、積極的に環境活動へ参加 - 実践上意見又は改善点等みつけた場合は、報告

3. 環境経営方針

建設業を営む当社は、事業活動における環境負荷の削減に努め、この地域の自然豊かな環境を後世のもの達に永遠に引継ぐため、環境関連法令等を遵守し、社員一丸となり、自主的、積極的に、環境保全への取組を推進します。

主要活動項目

環境保全のために、下記の主要活動項目について取組ます。

1. 温暖化防止対策のため二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 廃棄物排出量の削減及びリサイクル率向上に努めます。
3. 地球資源を大切に水使用量の削減に努めます。
4. 事務用品のグリーン購入に努めます。
5. 工事現場での資材のグリーン調達で環境配慮に努めます。

2019 年 4 月 1 日

高重建設工業株式会社

代表取締役 高橋 剛

4. 環境経営目標と実績

4-1. 主な環境負荷の実績（過去3ヶ年の環境負荷の推移）

《本社》

上段：実績、下段：環境効率指数

項目		単位	2017 年度	2018 年度	2019 年度
工事高		百万円	721	689	576
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	46,101	47,475	44,651
環境効率指数 (kg-CO ₂ /百万円)		指数	63	68	77
使用量	電力使用量	kWh	9,320	8,921	9,062
	環境効率指数 (kg-CO ₂ /百万円)	指数	12	12	15
	ガソリン使用量	ℓ	14,918	16,653	16,197
	環境効率指数 (ℓ/百万円)	指数	20	24	28
	灯油使用量	ℓ	2,687	1,931	1,184
	環境効率指数 (ℓ/百万円)	指数	3.7	2.8	2.0
	軽油使用量	ℓ	0	0	0
	環境効率指数 (ℓ/百万円)	指数	-	-	-
水使用量 上水		m ³	63	51	82
環境効率指数 (m ³ /百万円)		指数	0.08	0.07	0.14
一般廃棄物搬出量		k g	2,416	316	312
環境効率指数 (kg/百万円)		指数	3.3	0.45	0.54
グリーン購入		件	47	36	54
環境効率指数 (件/百万円)		指数	0.06	0.05	0.09
地域環境への貢献		回	10	10	8
環境効率指数 (回/百万円)		指数	0.013	0.014	0.013

※事業年度 4月1日～3月31日。

※購入電力の排出係数は、中部電力 2016 年度排出係数 0.452kg-CO₂/kWh を使用。

※軽油に関しては、現場管理とする。

《現場》

上段：実績、下段：環境効率指数

項目		単位	2017 年度	2018 年度	2019 年度
工事高		百万円	721	689	576
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	249, 090	357, 636	272, 326
環境効率指数 (kg-CO ₂ /百万円)		指数	338	519	472
使用量	電力使用量	kWh	2, 751	0	2, 430
	環境効率指数 (kg-CO ₂ /百万円)	指数	3. 8	0	4. 2
	ガソリン使用量	ℓ	0	0	0
	環境効率指数 (ℓ/百万円)	指数	-	-	-
	灯油使用量	ℓ	1, 359	2, 143	189
	環境効率指数 (ℓ/百万円)	指数	1. 8	3. 1	0. 3
	軽油使用量	ℓ	93, 089	135, 292	102, 485
	環境効率指数 (ℓ/百万円)	指数	129	196	177
水使用量 上水		m ³	0	0	0
環境効率指数 (m ³ /百万円)		指数	-	-	-
産業廃棄物搬出量		k g	3, 596	1, 716, 280	3, 594, 442
環境効率指数 (kg/百万円)		指数	4. 98	2490	6240
環境配慮製品 (AS 再生材) 購入促進		t	12, 322	7, 031	5, 864
環境効率指数 (件/百万円)		指数	17	10. 2	10. 1
地域環境への貢献		回	1	1	1
環境効率指数 (回/百万円)		指数	0. 001	0. 001	0. 001

※事業年度 4月1日～3月31日。

※中部電力 2016 年度排出係数 0.452kg-CO₂/kWh を使用

※ガソリンに関しては、本社管理とする。

コメント：

各項目の総量について、2019 年度は目標数字に到達していないものがありますが、災害があり、災害工事が多かったため、産業廃棄物の大幅に増えた。

4-2. 環境経営目標

《目標》

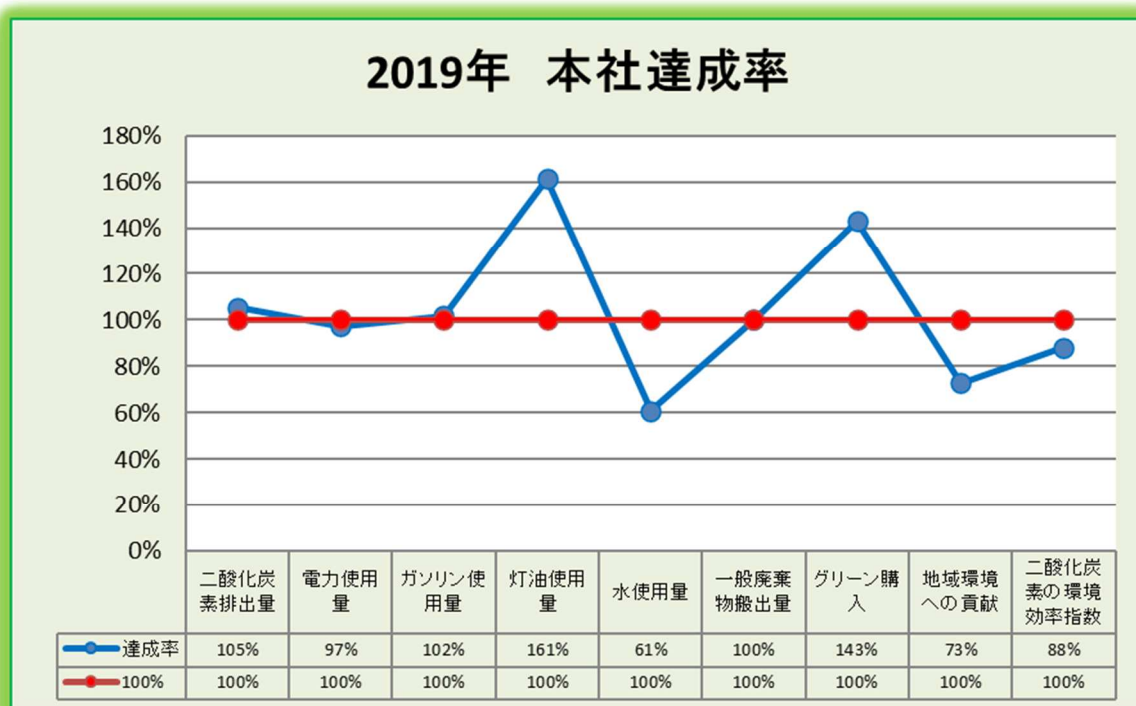
2018 年を基準年とし毎年-1%を目標とします。(グリーン購入品は+1~10%とします。)

項目		単位	2018 年 (基準年)	2019 年 (-1%)	2020 年 (-2%)	2021 年 (-3%)
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	405,111	401,060	397,009	392,958
燃料排出量	ガソリン	ℓ	16,653	16,486	16,320	16,153
	軽油	ℓ	135,292	133,939	132,586	131,233
	灯油	ℓ	4,074	4,033	3,993	3,952
電気使用量		kWh	8,921	8,832	8,743	8,653
水使用量	上水	m ³	51	50	50	49
一般廃棄物搬出量		kg	316	312	310	307
産業廃棄物		t	1,716,280	1,699,117	1,681,954	1,664,792
グリーン購入 (2019年+5%その後+1% ずつ増) 本社		件	36	37.8 (+5%)	38.16 (+6%)	38.52 (+7%)
グリーン購入 (+10%) 現場 (再生 AS 材)		t	7,031	7,734 (+10%)	8,437 (+20%)	9,140 (+30%)
地域環境への貢献 (+1 回)		回	10	11	12	13

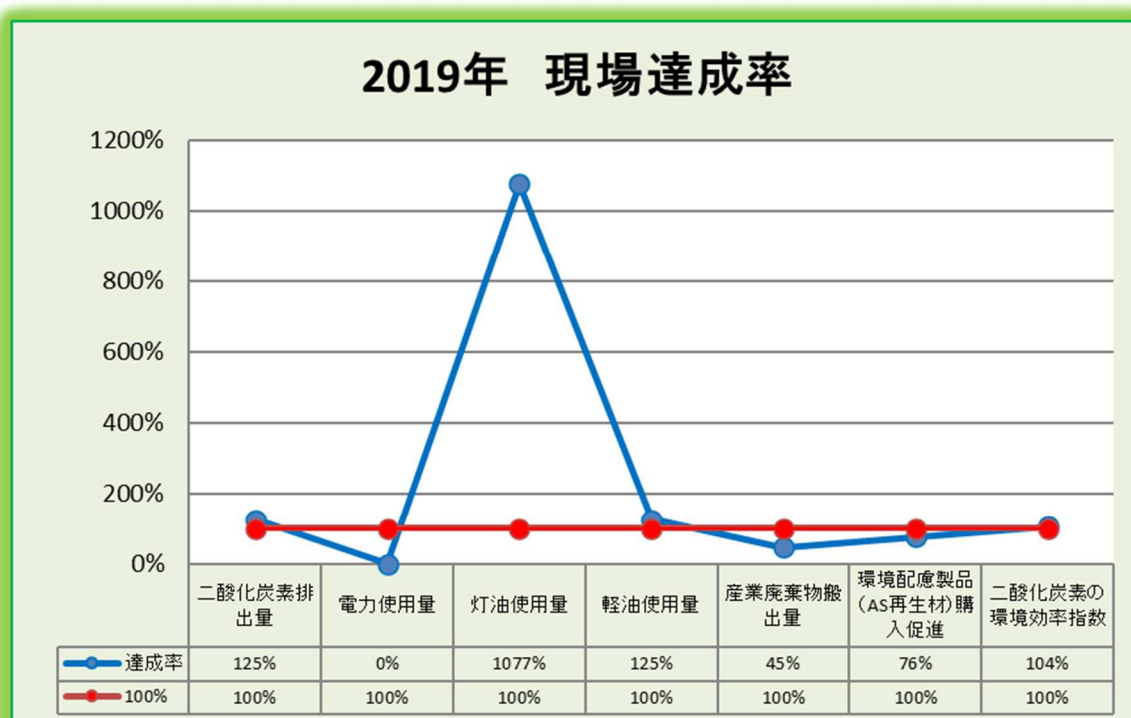
* 目標値に工事高の反映はありません。

5. 年度目標と実績・結果

《本社》の活動							
項目		単位	基準値 2018 年度	目標値 (-1.0%)	実績値 2019 年度	達成率 2018 年度	結 果
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	47,475	47,000	44,651	105%	○
使用 量	電力使用量	kWh	8,921	8,832	9,062	97%	×
	ガソリン使用量	ℓ	16,653	16,486	16,197	102%	○
	灯油使用量	ℓ	1,931	1,911	1,184	161%	○
	軽油使用量	ℓ	---	---	---	---	---
水使用量 上水		m ³	51	50	82	61%	×
一般廃棄物搬出量		k g	316	313	312	100%	○
グリーン購入		回	36	38 (+5%)	54	143%	○
地域環境への貢献		回	10	11 (+1 回)	8	73%	×
二酸化炭素の環境効率指数 (二酸化炭素/売上高)			68.9	68.2	77.5	88%	×



現場の活動						
項目		単位	基準値 2018 年度	目標値 (-1.0%)	実績値 2019 年度	達成 2019 年度 結果
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	357,636	354,059	272,326	125% ○
使用量	電力使用量	kWh	0	---	2,430	--- ---
	ガソリン使用量	ℓ	---	---	---	--- ---
	灯油使用量	ℓ	2,143	2,121	189	1,077% ○
	軽油使用量	ℓ	135,292	133,939	102,485	125% ○
水使用量 上水		m ³	---	---	---	--- ---
産業廃棄物搬出量		t	1,716,280	1,699,117	3,594,442	45% ×
環境配慮製品（AS 再生材）購入促進		t	7,031	7,734 (+10%)	5,864	76% ×
二酸化炭素の環境効率指数 (二酸化炭素/売上高)			519	---	472	104% ○



上記の目標のほか、下記の取組を推進する。
作業現場の常時の整理・整頓・清掃に各責任者を配置し取り組んでいく。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

① 二酸化炭素排出量の削減

環境活動計画・内容		評価（結果と次年度の取組内容）
1.燃料使用量の削減	① アイドリングストップ運動等エコドライブ 10 の実施 ② 低燃費車優先使用の推進 ③ 定期点検の実施 ④ 重機の不使用時のエンジン停止の徹底・エンジン回転数を80%に落とす。	現場は受注状況で変動するため、油断はできないが、昨年に比べ燃料の使用量が減少した。 今後もアイドリングストップなど、エコドライブを行い、取組活動を徹底していく。
2.電気使用量の削減	① エアコンの温度設定を冷房 28℃、暖房 20℃とする。 又、窓を開けるなどし、できる限りエアコンに頼らない。 ② 昼休み等不要時の消灯の徹底 ③ 待機電気機器の節電	事務所内での節電意識はかなり向上した。エアコンの温度設定は小まめに確認し、スイッチの ON/OFF が徹底できた。昼休み等の不要時の消灯も徹底できた。

② 廃棄物搬出量の削減及びリサイクル率の向上

環境活動計画・内容		評価（結果と今後の方針）
1.事業系廃棄物の削減	① 書類作成時の 1 枚ベスト、2 枚ベターの指導 ② 書き損じ等で発生した用紙の裏面使用徹底 ③ 両面コピー等枚数削減に努める。	裏紙の使用、両面コピー等は定着した。印刷前のプレビュー画面の確認を徹底するなどし、ミスプリントが出ない取組を引き続き進めていきたい。
2.現場系廃棄物のリサイクルの向上	① 分別の徹底とリサイクルの実行 ② 余剰資材等ムダをなくし廃棄物抑制につとめる。 ③ マニフェストの管理の徹底	現場での環境活動も浸透している。引き続き、余剰資材等について注意を呼びかけ、資材の分別を徹底したい。

③ 水道水の削減

環境活動計画・内容		評価（結果と今後の方針）
① 節水ラベルの貼付 ② パッキン等機器類の点検、整備		事務所での節水意識は定着してきている。現場では河川の水を利用しているので、意識は高いと思う。 今後も取組を徹底していく。

④ グリーン購入の推進

環境活動計画・内容		評価（結果と今後の方針）
① 購入時の確認及び調査		今後も同様の活動を行う。
② 現場では資材調達時に推進を行う		

⑤ 地域貢献活動の推進

環境活動計画・内容		評価（結果と今後の方針）
佐久市とアダプトシステムの協定を結び、年間 6～7 回のボランティア活動をする。 会社周辺の清掃を行う。		今後も同様の活動を行う。

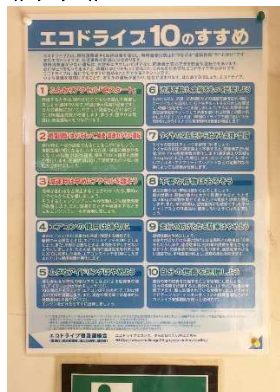
取組状況の紹介

《本社》

1. 二酸化炭素排出量の削減

① 燃料使用量の削減 《エコドライブ 10 への取組》

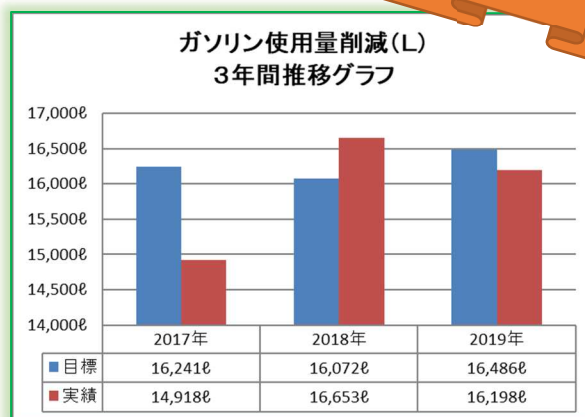
《本社》



掲示ポスター



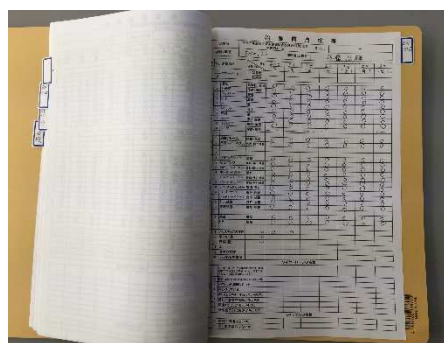
安全運転チェック



《現場》



掲示ポスター



使用車の点検表

② 電気使用量の削減 《電力使用量の削減》



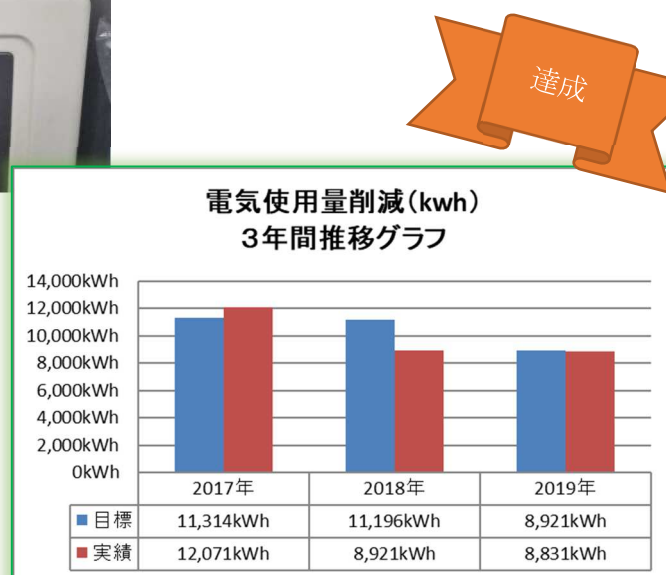
照明のスイッチ



暖房の温度設定



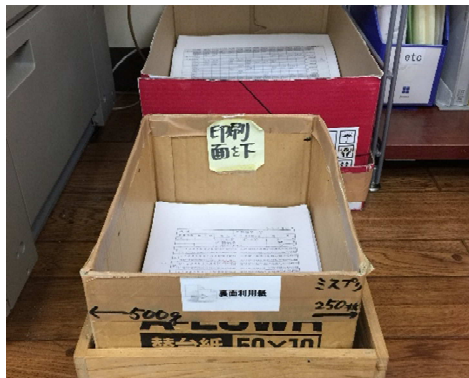
低消費電力設計の複合機



2.廃棄物搬出量の削減及びリサイクル率の向上

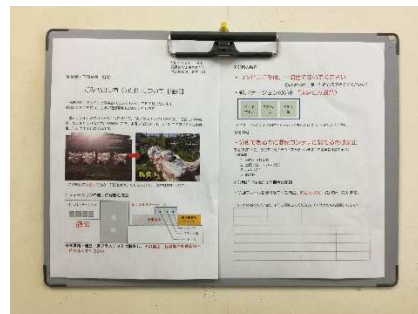
③事業系廃棄物の削減

《再利用用紙入れ設置・ミスコピー・ミスプリント防止の呼びかけ》

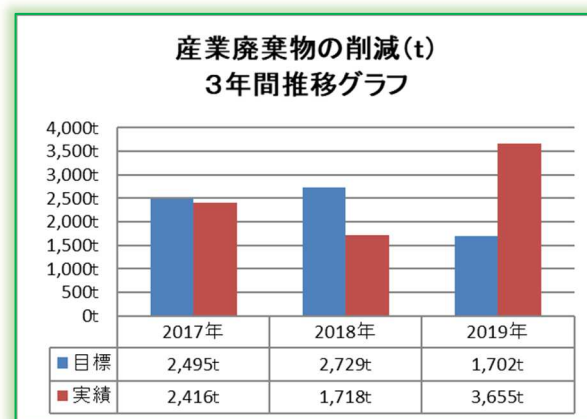


④産業廃棄物の搬出量の削減及びリサイクル率の向上

《産業廃棄物分別の呼びかけ》



《塩ビ管の洗浄・型枠材の再利用》



塩ビ管

付着した泥を洗浄し、再利用しやすいようにひと手間加えます。

型枠材

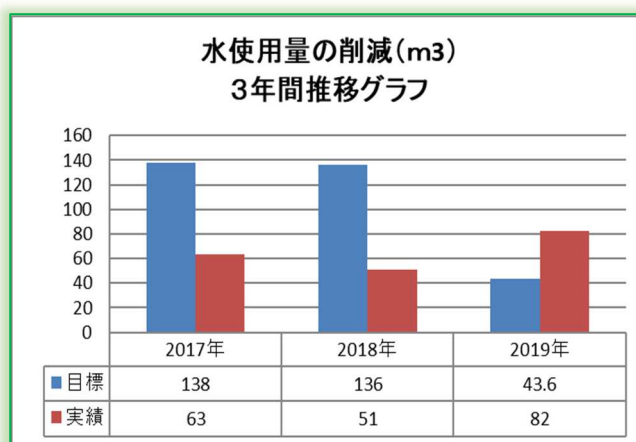
使い捨ての型枠材を分別し、再利用できるものは加工し、整理して利用します。



⑥水使用量の削減 《節水への呼びかけ》



トイレの2度流しをしないために擬音装置を設置



⑦地域貢献活動の推進 《アダプトシステム:公園清掃》



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 主な環境関連法規制の順守状況

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	遵守状況
廃棄物処理法	・委託基準：一廃収集業者の許可の確認	○
	・委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	○
	・保管基準 60cm×60cm 以上表示 飛散・浸透防止 衛生管理	○
	・マニフェスト交付 B2、D、E 票の保管（5 年間）、B2・D 票 90 日、 E 票 180 日以内に送付されない場合は、 30 日以内の知事への報告	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
建設リサイクル法	・建設工事の事前届出 ・解体工事：床面積の合計が 80 m ² 上 ・新築又は増築の工事：床面積の合計が 500 m ² 上 ・新築、増築、解体以外の工事：請負金額が 1 億円以上	○
騒音規制法	・特定施設の届出 ・地域別騒音基準の順守	○
振動規制法	・特定施設の届出 ・地域別振動基準の順守	○
水質汚濁法	・貯油施設の事故時の措置と届出	○
	・特定施設の届出 ・排水濃度の測定・記録	○
グリーン調達基準	・環境負荷の低い物品購入	○

遵守評価日 2020 年 4 月 1 日

環境管理責任者である上原章が、当社に摘要される環境関連法規制等まとめ表に記載された法規制等全ての遵守状況を確認した結果、違反はありません。また、関係する監督機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去 3 年間ありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

2019 年度（令和元年度）の環境経営結果について

- ・ 燃料は目標値に到達。すべてにおいて前年度実績より 23%減
- ・ 上水道使用量については、グリーンカーテンの取りやめにより減少したが、研修生が使用するシャワールーム設置のため、大幅に増えた。
- ・ 環境配慮製品（アスファルト再生材）については、目標値には届かなかった。

今年度は「長野県産業廃棄物 3R 実践協定」制度に参加した。これからも積極的に排出抑制、再使用、再利用、適正処理に取り組んでいきたい。

2020 年 4 月 1 日

高重建設工業株式会社

代表取締役 高橋 剛